

2024年度農村計画学会全国大会（秋期大会）プログラム

1日目 11月30日（土）：オールセッション、企画セッション
1課題あたり20分（発表14分、質疑5分、入れ替え1分）

発表区分①：2023年秋～2024年秋に農村計画学会論文集に採用済み、発表区分②：学術的価値がある研究等で未発表のもの

	第1会場（C101）	第2会場（B204）	第3会場（B304）
10:00	開会式		
10:15	休憩		
10:30	<p><1-1 居場所、コミュニティの形成> コーディネーター：牧山正男（茨城大学）</p> <p>1-1-1 マルシェを契機とした新たなコミュニティ形成 －明日香ビオマルシェを対象として－ 岩本 垂里沙（同志社女子大学大学院）他1名②</p> <p>1-1-2 一村一小中学校地域における子ども食堂が持つ効果に関する研究 －徳島県佐那河内村「ボスガネウボラ」を事例に－ 笹田 真帆（徳島大学）他1名②</p> <p>1-1-3 中高生のサードプレイスの評価手法に関する研究 村元 義樹（株式会社フューチャーリンクネットワーク）他1名②</p> <p>1-1-4 農山村において移住者の人的ネットワークはどう構築されたか？ －北海道下川町の事例－ 黒田 峻平（北海道大学）②</p>	<p><1-2 拠点と地域連携> コーディネーター：大石卓史（近畿大学）</p> <p>1-2-1 幼少期の農林漁業・自然体験と農山漁村地域における観光コンテンツの選好 大塚 寛和（農研機構）②</p> <p>1-2-2 宿泊施設・地域の魅力と地域ファン獲得 －青森県内の宿泊施設宿泊者を対象として－ 亀倉 花（弘前大学大学院）他1名②</p> <p>1-2-3 過疎地域の観光まちづくりにおける寺院と住民活動団体の関係と行動原理 －高知県四万十町の岩本寺を事例として－ 原田 弘之（大阪成蹊大学）他1名②</p> <p>1-2-4 高校と地域の連携は地域になにをもたらすか －連携を支援するコーディネーターと学外関係者の経験から－ 神 志穂（北海道大学大学院）他1名②</p>	<p><1-3 環境管理活動> コーディネーター：新田将之（愛媛大学）</p> <p>1-3-1 都市農地保全意向の分析 －農地景観評価と「こくべじ」の購入動向の影響－ 岡本 ありさ（東北大学大学院）他1名②</p> <p>1-3-2 自然の関係的価値の水平移動評価 －文脈をまたいだ関係的価値の共有可能性－ 齋藤 智美（東京大学大学院）②</p> <p>1-3-3 里山保全活動団体の持続可能性に関する要因探索 包 薩日娜（国立環境研究所）他3名②</p> <p>1-3-4 農業生産現場における食品ロスの実態把握 宇野 遊（同志社女子大学大学院）他1名②</p>
11:50	休憩		第4会場（B101）
13:00	<p><2-1 自治体による地域支援施策> コーディネーター：山下良平（石川県立大学）</p> <p>2-1-1 自治体担当課による地域コミュニティ活動のフォローアップと施策立案に関する研究 －都市的地域と農村地域とが合併した自治体を対象として－ 吉岡 誠生（筑波大学）他1名②</p> <p>2-1-2 半農半X実践者に対する都道府県の支援に関する研究 萩野 直夫（岡山大学大学院）他1名②</p> <p>2-1-3 若手コーディネーターと住民リーダーの成長を内包する地域運営組織設立支援のモデル化 －大分県竹田市明治地区を事例として－ 安部 梨杏（神戸大学大学院）他1名①</p> <p>2-1-4 特定地域づくり事業協同組合の体験型マッチング機能としての活用可能性に関する研究 －奈良県かわかみワークを事例に－ 大橋 了輔（徳島大学）他1名②</p>		<p>12:00 <企画セッションI> 企画委員会</p> <p>13:30 次世代による地域の“決断”ワークショップ</p>
14:20			

11月30日(土):オーラルセッション
 1 課題あたり 20分(発表 14分, 質疑 5分, 入れ替え 1分)

発表区分①:2023 年秋~2024 年秋に農村計画学会論文集に採用済み, 発表区分②:学術的価値がある研究等で未発表のもの

	第1会場(C101)	第2会場(B204)	第3会場(B304)
	休憩		
14:30	<p><3-1 状況変化への適用(過疎と災害)> コーディネーター:柴田 祐(熊本県立大学)</p> <p>3-1-1 他出者が町内会長を担いうる町内会の役員体制と意識 -京都市右京区京北中江町を事例として- 小林 悠歩(神戸大学大学院)他1名①</p> <p>3-1-2 他出子が抱く出身地域に対するコミュニティ意識の分析 -鳥取県日野町を事例に- 法理 樹里(農林水産政策研究所)他5名②</p> <p>3-1-3 災害に伴う孤立地域の対応と地域コミュニティの役割 -熊本県球磨村三ヶ浦地区を事例として- 藤島 璃音(神戸大学)他2名②</p> <p>3-1-4 令和6年能登半島地震における公立小中学校の再興過程の記録と考察 -能登6市町を対象とした被災後10か月時点の学校移動実態と学校集約に関する東日本大震災との比較- 山崎 真美子(東京科学大学)他1名②</p>	<p><3-2 再生可能エネルギーの普及と地域> コーディネーター:上野 裕士(内外エンジニアリング)</p> <p>3-2-1 色彩調和概念に基づく営農型太陽光発電の配色に対する景観評価構造 横山 采佳(三井物産フォレスト株式会社)他2名②</p> <p>3-2-2 農地における規模別の太陽光パネル設置要因の分析 石井 裕樹(筑波大学)他1名②</p> <p>3-2-3 小水力発電の復活事業において旧発電所の存在が果たす役割 中尾 京子(早稲田大学大学院)他1名②</p>	<p><3-3 ICTと地域管理> コーディネーター:長野 宇規(神戸大学)</p> <p>3-3-1 Sentinel-2 衛星データによる圃場の排水性評価指標 / NDVI と小麦収量との関係 -三重県鈴鹿市の小麦作の水田輪換畑における事例- 篠原 健吾(農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門)他1名②</p> <p>3-3-2 住民主体の農地・地域資源管理システムの構築の可能性と課題 新田 直人(持続可能な地域社会総合研究所)他5名②</p> <p>3-3-3 インターネットが普及する国内農村地域における住民の生活課題解決に関する研究 田中 初(京都大学大学院)他1名②</p> <p>3-3-4 スマート農業政策に関する議会議論の傾向 -多科学技術至上主義に着目したテキスト分析を通じて- 西村 直人(京都大学)他2名①</p>
15:50	休憩		
16:00	<p><4-1 コミュニティへの定着と主体性> コーディネーター:田口 太郎(徳島大学)</p> <p>4-1-1 漁村女性はいかに地域に根付くのか -宮崎県北浦町の子育て世代女性を対象として- 井上 果子(宮崎大学)他1名②</p> <p>4-1-2 農村版心理的資本からみた被災地の未来志向 -令和6年能登半島地震被災地の調査結果から- 藤井 善仁(武庫川女子大学)他1名②</p> <p>4-1-3 地域おこし協力隊の任期終了後の定住率と進路及び地域特性との関連分析 -全国の自治体データを対象として- 小林 正英(筑波大学)他1名②</p> <p>4-1-4 上越市三和区におけるため池の管理・活用及び住民意識 大澤 啓志(日本大学)他1名②</p>	<p><4-2 土地利用と政策> コーディネーター:菊池 義浩(仙台高専)</p> <p>4-2-1 EPI(環境政策統合)の理念に基づくスコットランドの土地利用戦略 -脱炭素と土地の多機能的利用- 板橋 千明(早稲田大学大学院)他1名②</p> <p>4-2-2 2050年荒廃農地の将来予測と自治体統計データとの検証 黄 琬惠(東京大学大学院)他1名②</p> <p>4-2-3 集落空間に影響を与える農村政策の変遷 平形 和世(農林水産省農林水産政策研究所)他1名②</p>	<p><4-3 生物多様性と鳥獣害> コーディネーター:一ノ瀬 友博(慶應義塾大学)</p> <p>4-3-1 希少野生動物との共生を目指した農村地域づくり -台湾新北市金山区におけるソデグロヅル飛来の事例- 岸岡 智也(弘前大学)他1名②</p> <p>4-3-2 農地における生物多様性保全に取り組む活動組織の特徴 -多面的機能支払交付金の全国データを用いた分析から- 藤田 卓(公益財団法人日本自然保護協会)他5名①</p> <p>4-3-3 盛岡市におけるカラスのロードキル多発地点の立地条件 -特に高速道路に着目して- 佐藤 瑠一(岩手大学大学院)他3名②</p> <p>4-3-4 放置竹林材を用いたセルフビルド可能な獣害防除ハウスの建設とその地域活性効果に関する研究 時任 美乃理(京都大学大学院)他2名②</p>
17:20			

2日目 12月1日(日):ポスターセッション, 企画セッション

発表区分①:2023年秋~2024年秋に農村計画学会論文集に採用済み, 発表区分②:学術的価値がある研究等で未発表のもの

第1会場 (C101)		第4会場 (B101)		
09:00	<p><企画セッションII> 09:00~10:30</p> <p>脱炭素特別委員会</p> <p>「複層的空間利用」から農山村の脱炭素化と持続可能性を考える</p>	<p><ポスターセッション/コアタイム1> 09:00~09:50</p> <p>P1-01 東日本大震災からの復興に取り組む地域と大学の連携に対するステークホルダーの評価 —「復興知」事業の関係者ならびに高校生を対象としたアンケート調査に基づいて— 大石 卓史 (近畿大学大学院) 他 4名 ②</p> <p>P1-02 2024年能登半島地震・豪雨による白米千枚田の被害と農地復旧への支援 内川 義行 (信州大学) 他 1名 ②</p> <p>P1-03 2024年能登半島地震および能登半島豪雨による輪島市の被災状況と今後の災害リスクの低減に向けて —白米千枚田における緊急調査— —ノ瀬 友博 (慶應義塾大学) 他 4名 ②</p> <p>P1-04 農村計画学会災害対応委員会の能登半島地震に対する取り組みについて 柴田 祐 (熊本県立大学) 他 8名 ②</p> <p>P1-05 能登半島地震における新潟市の被害と再建に向けた動き 鈴木 孝男 (新潟食料農業大学) ②</p> <p>P1-06 住民自治組織が災害復興にもたらす影響に関する研究 竹崎 有麻 (熊本県立大学) 他 1名 ②</p>	<p>P1-07 令和6年能登半島地震における輪島市内孤立集落の空間分布 竹中 敬雄 (石川県立大学) 他 1名 ②</p> <p>P1-08 生物多様性地域戦略はモニタリング可能か? —国家戦略2023-2030における状態目標, 行動目標と対応した分析— 石黒 平 (東京大学) 他 2名 ②</p> <p>P1-09 ドローンを活用した特定外来生物ナガエツルノゲイトウの発生モニタリングの可能性 栗田 英治 (農研機構 農村工学研究部門) 他 4名 ②</p> <p>P1-10 特定生産緑地2032年問題の解決に向けた「援農まちづくり活動」に関する考察 —東京都練馬区におけるグループ援農によるまちづくり活動支援を通して— 山口 志志 (公益財団法人 練馬区環境まちづくり公社 みどりのまちづくりセンター) ②</p> <p>P1-11 RTK-GNSSによる1日の耕うん作業を対象とした作業時間の実態分析 吉村 亜希子 (農研機構 農村工学研究部門) 他 5名 ②</p> <p>P1-12 台湾観光農場におけるCOVID-19への対応 藤崎 浩幸 (弘前大学) 他 1名 ②</p>	
10:30	休憩			
10:45	<p><企画セッションIII> 10:45~12:15</p> <p>ため池みらい研究所</p> <p>新たな大学・地域連携活動の形とその可能性 —「ため池みらい研究所」の仕組みと実践を通して—</p>	<p><ポスターセッション/コアタイム2> 10:45~11:30</p> <p>P2-01 大学・地域連携の一方案としてのCSA (Community Supported Agriculture) の実践に対する大学関係者の評価 —近畿大学農学部と奈良県曽爾村による「そのかわ CSA」の取り組みを対象として— 田原 ほの花 (近畿大学大学院) 他 3名 ②</p> <p>P2-02 棚田を利用した流域治水に関する基礎的研究 松田 明子 (鹿児島大学) 他 1名 ②</p> <p>P2-03 地方都市近郊農村の郊外化と山林管理の変容過程に関する研究 —宮崎市鏡洲地区を事例として— 小森 玲於奈 (宮崎大学) 他 1名 ②</p> <p>P2-04 心理的要素が集落活動の継続意思に及ぼす影響の解明 —有機的統合理論と心理的資本を活用して— 岡野 こゆう (東京農工大学大学院) 他 2名 ②</p> <p>P2-05 福島県飯館村の集落営農による営農再開 齋藤 朱未 (同志社女子大学) ②</p>	<p>P2-06 ふるさと納税返礼品としての環境配慮米の寄付額形成に与える要因の分析 楊 育齊 (早稲田大学大学院) 他 1名 ②</p> <p>P2-07 離島振興におけるグリーン・ツーリズムの役割と今後の発展 —新潟県粟島浦村を事例として— 王 イ雪 (新潟食料農業大学) 他 1名 ②</p> <p>P2-08 農村計画におけるプロセス研究の深化にむけた定性的分析手法の比較考察 —TEAとM-GTAによる同一データの分析— 内野 僚太 (東京農工大学) 他 2名 ②</p> <p>P2-09 集落機能の量的・質的变化による集落の立ち位置を判断する評価軸の検討 山道 未貴 (熊本県立大学) 他 1名 ②</p> <p>P2-10 小水力発電所の近接性が共有資源管理に与える影響 —富山県農業集落を対象としたパネルデータ分析— 田中 桃花 (東京大学) 他 1名 ②</p> <p>P2-11 地域産材を活用した熱供給事業における支援組織の役割 —ステークホルダー間の連携体制構築に着目して— 廣川 詩織 (早稲田大学大学院) 他 1名 ②</p>	
12:15	12:00~12:20にポスター撤去			
13:20	理事会・評議員会 12:30~13:10			
14:55	<記念講演>			
15:00	閉会式			

※ポスターセッションは
12:00終了